

平成28年度第2回 国土交通省東京航空局 入札監視委員会  
審議概要

開催日及び場所	平成28年12月9日(金) 国土交通省2号館 地下1階共用会議室B	
委員	委員長 浅野 正一郎(国立情報学研究所名誉教授) 委員 廣渡 鉄(弁護士) 委員 高田 和幸(東京電機大学教授)	
審査対象期間	平成28年4月1日～平成28年9月30日	
抽出案件	総件数3件	
1. 工事	一般競争入札(総合評価方式)	1件
2. 建設コンサルタント業務等	一般競争入札(最低価格方式)	1件
3. 役務の提供等	一般競争入札(最低価格方式)	1件
各委員からの意見・質問、それに対する東京航空局の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数者応札にむけての検討</li> <li>・滞在的な競争環境の更なる構築</li> </ul>	

審議概要

意見・質問	回答
<p>1. 工事（一般競争入札／総合評価方式） 新千歳空港A滑走路中心線灯改良その他工事</p>	
<p>○類似工事实績を持つ事業者が多数いる中で、1者応札となっている要因分析は如何。</p> <p>○時期的とは、ヒアリングした者の固有の問題なのか、発注時期の問題なのか。</p> <p>○時期的以外で何か他の要因は考えられるか。</p>	<p>○入札説明書を配布した業者に後日確認したところ、時期的に技術者の専任配置が難しく参加を見送ったとのこと。</p> <p>○事業者判断と発注時期に他の工事との兼ね合いによる時期の問題の両方が要因と考えられる。</p> <p>○空港の制限区域内で限られた時間内（滑走路を閉鎖した夜間等）に実施する必要があることから一般的な工事よりも時間的な制約が要因の一つと考えられる。</p>

審議概要

意見・質問	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等（一般競争入札／最低価格方式） 東京国際空港L誘導路中心線灯改良その他工事等監督補助業務</p>	
<p>○技術者の配置人数が一部示されていない中で、事業者は入札価格を算定できるものなのか。</p> <p>○仕様書には補助業務を行う各工事の工程が示されているので、過去に受注実績があれば予定価格がおおよそわかる仕組みになっているのではないか。</p> <p>○1者応札となっている要因分析は如何。</p> <p>○本体と付帯設備を一体に発注したほうが、入札参加者が増えるのではないか。</p>	<p>○配置する各工事の種類、期間は工程で示しているので、事業者が工程から必要な人数を積み上げて配置を決めることで算定は可能。また、当局の積算も積算基準に基づき、工事のオーバーラップする工数に応じて積み上げを行っている。</p> <p>○公表されている積算基準を基にしていることからおおよその見当はつくものの、工事のオーバーラップする部分の積み上げで若干の差が出るものと思料。</p> <p>○競争参加資格要件を満たす者は多数存在するものの、同種業務の実績がある事業者が少数であることが要因と思料。</p> <p>○本体は整備局、付帯設備は当局と分担しているため、付帯設備のみの発注となった。</p>

審議概要

意見・質問	回答
<p>3. 役務の提供等（一般競争入札／最低価格方式） 東京 SMC 管轄航空交通管制機器等保守請負</p>	
<p>○本件は市場化テストにおいて終了プロセスに移行しているが、移行後の取扱は如何。</p> <p>○発注しているエリアが広大で、対象となる施設も多いことが地理的、技術的要件を難しくしているのではないか。</p> <p>○1者応札の改善策として、何かできることはあるのか。</p>	<p>○市場化終了後においても各府省において新規参入拡大に向けて市場化で行ってきた措置を継続していくこととなる。</p> <p>○ロットを小さくすると額も小さくなることから一定規模の確保は必要であり、本業務の対象エリア等は必要最低限の区分と思料。</p> <p>○対象となる各装置が一般化できるものであれば本質的な解決になるのだが、航空機に情報提供している装置の一般化は難しい。現状では他の技術者でも実施可能な装置としていくことが目指すべきところと思料。</p>